

会 議 録

会議の名称	平成28年度 第2回守谷市国民健康保険運営協議会		
開催日時	平成28年11月24日(木) 開会：午後1時30分 閉会：午後2時10分		
開催場所	市役所議会棟2階 全員協議会室		
事務局(担当課)	保健福祉部 国保年金課		
出席者	委員	高橋会長, 稲葉会長代理, 須賀委員, 染谷(光)委員, 森田委員 高梨委員, 染谷(桂)委員 計7名	
	市職員	橋本副市長, 木澤保健福祉部長, 長田保健福祉部次長兼国保年金課長, 鈴木係長, 小野係長, 稲葉技正, 岩瀬主任 計 7名	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
公開不可の場合はその理由			
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 守谷市国民健康保険データヘルス計画について 4 その他 5 閉会		
確定年月日	会議録署名		
平成28年12月18日	会長 高橋 典久		

審 議 経 過

1 開 会（事務局）

事務局：平成28年度第2回守谷市国民健康保険運営協議会を開催する旨を宣言し、出席委員7名であり、過半数の出席であることから、会議は成立する旨を報告した。なお、傍聴希望者はないことを報告した。

2 あいさつ

高橋会長あいさつ

橋本副市長あいさつ

3 報告事項

議事に入る前に、会議録に発言者氏名を記載するかどうかを協議し、発言者氏名を記載することとした。

議事内容(要旨)

守谷市国民健康保険データヘルス計画について

事務局 レセプトの電子化や国民健康保険中央会が作成した、国保データベースシステムを活用しPDC Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保険事業の実施を図るため保険事業実施計画（データヘルス計画）を策定した。計画期間は平成27年度から平成29年度までの3年間で平成27年度はデータの分析を行った。

守谷市の国民健康保険被保険者は15,275人で国保加入率は、23.7%、国保被保険者の平均年齢は51.2歳、茨城県の平均年齢よりも高く、65歳以上の被保険者が占める割合は、53.5%で65歳から69歳の加入者が一番多い年代となっている状況である。

健診受診者のうち重症化予防対象者は、1,388人、そのうち未治療者は515人で早急に治療を始める必要があるため積極的に重症化予防対策に取り組むことが重要である。

メタボリックシンドローム該当者については、男女の割合の差が大きく男性の割合が女性よりも多い状況である。目標値の設定については、メタボリックシンドローム該当者の男性の該当割合を25.1%から24%に、また、重症化予防対象者のうち未治療者数の515人を500人とする。

目標値については特定健診の結果や、受療状況の経年比較を行い、改善度を評価する。評価と見直しについて、茨城県国保連合会に設置されている保健事業支援評価委員会の指導・助言を受けるものとし、目標値の達成状況を踏まえ、必要に応じ事業の見直しを行う。

また、特定健診未受診者対策や特定保健指導（メタボの指導）の現状について説明した。

染谷(桂)委員 痛みが伴わないと私も含めて健診の必要性を感じないのです。私痛い所ないから元気なのよという人が殆どなのです。先だってシニアクラブで栄養士にお話しをしていただきました。

殆どの方が食欲もあるし痛い所もない感じです。民生委員として皆さんに年に1回だけは健康診断を受けて、特定の医療機関を決めておけばいいのではないかとお話しをしています。

4 その他

特になし

5 閉会